



小池雄一

# 修郎先生の事件簿

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしゅう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスをを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、SVの田中君の就労ビザ手続きが新システムの不調のせいで滞っているのだから。

佐生修郎 おお、それは大変だ。あのマー君が持っている機械メンテのスキルはプロジェクトに必要なからねえ。

鈴木 新TKA ONLINE(労働省就労許可発行管理システム)がうまくいっていないの？

佐生 駄目だった。最初は良くできていると思ったんだけど、完全に裏切られた。11月1日稼働開始から3週間くらいは申請に必要な入力項目

が日々変わって、項目が増えたり減ったりしていた。だから何度も申請入力のやり直しになったケースがたくさんあった。

鈴木 DKPTKA(俗称DPKK、外国人労働者利補償基金)の米ドル支払いが遅れてしまってNOTIFIKASI(通知書、旧IMTA)のプロセスを最初からやり直したって聞いたよ。

## 新TKA ONLINE稼働開始

佐生 そう。その点はこれからも注意が必要だ。NOTIFIKASIが発行されてから、たった1営業日以内にDPKKの支払を実行しなければならぬ。米ドルを支払うのに社内ガバナンスが効いていて出金手続きに時間がかかるようだと期限切れでデータが削除されてしまい、再申請になるぞ。

鈴木 再申請だけは勘弁して欲しいなあ。とにかく米ドル

を支払いの社内手順を迅速化するよ。

佐生 思わぬくせものは、イミグレーションシステムへのデータ連携機能だ。新TKA ONLINEに対してVTT TELLXの情報を入力する。この初期の段階で、後に就労ビザを申請する在外公館を決めて入力しなければ

追ったとき、東京ではなくシンガポールで就労ビザを取得するぞっていうコントロールがやりにくくなるねえ。

佐生 それに大阪インドネシア領事館はVTT TELLXの飛ばし先の選択肢にさえ入っていないから、今後大阪では就労ビザの申請取得はできない。(ビジネスビザは

ネシア大使館に申請するとなると東京のビザエージェントを使うしかないかなあ。

佐生 それだけじゃない。イミグレーションシステムでデータを受信した後、VTT TELLX処理の進捗がブックボックスになってしまった。

鈴木 ええっ、今まではVISA ONLINE上で進捗ステータスが照会できたのに。今後更にVTT TELLX発行のタイミングが読みにくくなるね。でも、より早めに発行される可能性だってあるよ。だから、それを期待しているよ。

佐生 そうだね。そう願おう。

鈴木 延長の申請はどうなるの？

佐生 それも新TKA ONLINEで処理されることになる。でもゴメン、紙面の

関係でまた次回ね。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。52歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜に掲載します。

鈴木 入国スケジュールが

佐生修郎 心得の条

一 NOTIFIKASI発行後1営業日以内にDPKKを支払わなければならない。社内ガバナンスの関係で米ドル出金に時間がかかる場合には、あらかじめ出金手順の迅速化を図っておくこと

二 就労ビザを取得する在外公館を早めに決める必要がでてきた。また、大阪インドネシア領事館では今後312就労ビザは申請できなくなるので対処法を考えておくように

可能)

鈴木 関西から東京インド

ネシア大使館に申請するとなると東京のビザエージェントを使うしかないかなあ。

佐生 それだけじゃない。イミグレーションシステムでデータを受信した後、VTT TELLX処理の進捗がブックボックスになってしまった。

鈴木 ええっ、今まではVISA ONLINE上で進捗ステータスが照会できたのに。今後更にVTT TELLX発行のタイミングが読みにくくなるね。でも、より早めに発行される可能性だってあるよ。だから、それを期待しているよ。

佐生 そうだね。そう願おう。

鈴木 延長の申請はどうなるの？

佐生 それも新TKA ONLINEで処理されることになる。でもゴメン、紙面の

関係でまた次回ね。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。52歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜に掲載します。